



河鍋曉翠(絵手本 美人の顔 第一段)河鍋曉斎記念美術館蔵



河鍋曉翠(絵手本 美人の顔 第二段)河鍋曉斎記念美術館蔵

# 日本画を まなぶ

## 女子美術学校における日本画教育

2010 5.14 FRI ~ 6.6 SUN 10:00 ~ 17:00  
休館日：火曜日

入館料：一般300円（学生、未就学児、65歳以上、身体障害手帳をお持ちの方は無料）（入館は16：30まで）

会場：女子美アートミュージアム

交通：1.小田急線相模大野駅駅前バス乗場3番より「女子美術大学行き」乗車約20分

※平日、土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール乗場4番より発車

2.JR横浜線古淵駅バス乗場2番より神奈川中央交通バス「女子美術大学行き」乗車約15分

主催：女子美術大学美術館 後援：相模原市、相模原市教育委員会 協力：女子美術大学日本画研究室  
女子美アートミュージアム 〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学相模原キャンパス10号館1階 tel.042-778-6801  
公式HP: <http://www.joshi.ac.jp/>

女子美術大学

110TH

JAM



河鍋曉翠(絵手本 美人の顔 完成)河鍋曉斎記念美術館蔵

# 日本画をまなぶ

女子美術学校における日本画教育

2010年に創立110年を迎えた女子美術大学は、創立時より一貫して日本画教育を行っています。本展覧会では開校から戦前までの日本画科の教員・卒業生の作品を紹介します。初期には河鍋暁斎の娘である河鍋暁翠(かわなべきょうすい,1868-1935)や女子師範学校創設当初より絵画を教えた武村耕靄(たけむらこうあい,1852-1915)など当時としては貴重な存在であった女性画家が教員をつとめました。大正期には栗原玉葉(1883-1923)や柿内青葉(1890-1982)など本学日本画科の卒業生から教員となる画家が現れます。

上の4名の作品の他に、大正末期から昭和期にかけて日本画科教員をつとめた結城素明(1875-1957)、卒業生で教員・学長をつとめた三谷十糸子(1904-1992)、同じく卒業生で文化勲章を受章した片岡球子(1905-2008)など当館コレクションから本学日本画科の教員・卒業生の作品を展示します。



結城素明《孔雀園》女子美術大学(刺繍)蔵



栗原玉葉《舞妓園》長崎大村美術館蔵



栗原玉葉《尼僧(修道女)》長崎県美術館蔵



柿内青葉《月見草咲く庭》女子美術大学美術館蔵



河鍋暁翠《寛永時代美人図》河鍋暁斎記念美術館蔵



武村耕靄《百合園》お茶の水女子大学蔵